

## ごあいさつ



妻沼町長 高橋 茂



南河原町長 小暮 一男

## 施設の概要

### 1.事業の概要

- ・設置主体名：妻沼南河原環境施設組合
- ・構成市町村名：妻沼町、南河原町
- ・施設規模：45 $\times$ 6 $\div$ 日
- ・処理対象人口：34,387人（計画目標年次 平成12年）
- ・処理方式：高負荷脱窒素処理方式+汚泥再生処理

### 2.建設場所及び総面積

- ・建設場所：埼玉県北埼玉郡南河原村大字中江袋261-1
- ・構造：地下1階地上2階RC造り
- ・総敷地面積：9,817 $\text{m}^2$
- ・建築面積：1,229 $\text{m}^2$
- ・延べ床面積：地下1階 265 $\text{m}^2$   
1階 1,142 $\text{m}^2$   
2階 830 $\text{m}^2$
- ・車庫棟面積：116 $\text{m}^2$

### 3.事業費

国庫補助金額	287,707,000円
県費補助金額	12,336,000円
起債額	858,200,000円
一般会計額	45,582,000円
総事業費額	1,203,825,000円
(負担割合 妻沼町83.2% 南河原村16.8%)	

### 4.工事期間

工事着工：平成 9年 12月26日  
工事竣工：平成11年 3月10日

### 5.設計施工管理

施工管理：株式会社日本環境工学設計事務所  
設計施工：日本鋼管株式会社



当組合は、埼玉県北部に位置する「大里郡妻沼町」と「北埼玉郡南河原村」とによって構成されています。清潔で快適な生活環境が守られることは、住民の共通した願いであり、清掃行政にとっても極めて重要な課題です。しかし最近では、生活様式の変化に伴って水洗式が普及し、それとともに浄化槽汚泥が増加し、施設の老朽化とあいまって、機能が著しく低下していました。

そこで、同じ悩みを持つ妻沼町と南河原村が共同で汚泥処理施設の更新をはかることとなりました。事業は、国や県当局の指導の下、地域住民の皆様のご理解を得て、平成6年9月からスタートし、このたび完成の運びとなりました。当施設は、従来の高負荷脱窒素処理方式に学校給食用の厨芥ごみを加えた再生処理方式を導入したもので、最新鋭の技術により固形肥料化を実現しています。これにより、汚泥を完全に農地へ還元し、自然にリサイクルさせる全国初の汚泥再生処理施設として、大きな注目を集めています。

今後は、施設の機能が十分発揮でき、地域の皆様のご要望にお応えできるよう、管理運営に努めるとともに、施設の建設にあたってご協力を賜りました関係機関、地元の皆様方に心から感謝を申し上げます。

### ■施設配置図

